

2014 年 11 月 4 日配信 / 2014-No.2

学生と市民が机を並べて学ぶ堺の文化と歴史

市民公開授業「堺学」開講【大阪府共催】

堺市は歴史も古く、文化遺産も豊かなまちであるが、市民や学生は意外とそのまちの価値を知らないものです。太成学院大学（足立裕亮学長）では、平成 24 年度より大阪府の共催で、堺市の生き字引き・中井正弘客員教授（元堺市博物館 副館長）の「堺学（堺の文化と歴史）」を市民公開授業として開いています。

太古のロマン、日本を代表する仁徳天皇陵古墳をはじめ、壮大なスケールで古墳時代を今に伝える古墳の数々。平安時代、摂津・河内・和泉の 3 国の境に位置しているところから「さかい」と呼ばれるようになり、貿易都市として発展した堺のまちづくりの精神を今に伝える史跡、神社・仏閣とそこに残された文化遺産。

9 月より来年の 1 月までの半年間 15 回に渡り、古代から近代までの堺市の文化や歴史を勉強するが、大仙陵やみはら歴史博物館へのフィールドワークも実施します。

現在、市民 25 名、学生 67 名が受講しているが、「久しぶりに若い学生と机を並べて勉強し昔の学生時代を思い出し、おおいにキャンパスライフを楽しむことができた」との市民の方の感想も聞かれました。百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を目指し老いも若きも、しっかりと郷土の文化と歴史を勉強し共に頑張っています。



【学生と市民が、同じ教室で堺について一緒に学びます】

■開講時期：9 月 18 日（木）から 1 月 8 日（木）の半年間 15 回講義

■開講時間：毎週木曜日 10：40～12：10（2 時限目）

■講座費用：5,000 円（15 回分） 1 回のみ受講（500 円）も可能です

テキスト代（1,500 円／希望者のみ）

※申し込み方法・来学方法等の詳細につきましては、パンフレットをご送付させていただきます。

下記お問い合わせ・お申込み先までご連絡をお願いいたします。

【お問い合わせ・お申込み】

太成学院大学	社会連携・資格支援主事 人間学部 講師	猪池 雅憲
	学生サービス課	上西・小西

〒587-8555 大阪府堺市美原区平尾 1060-1

TEL 072-362-3731 / FAX 072-362-0598 / URL <http://www.tgu.ac.jp>

〈本件発信部署・取材等に関するお問い合わせ〉

太成学院大学 入試課 担当：川越 [E-mail:public@tgu.ac.jp]

〒587-8555 大阪府堺市美原区平尾 1060-1

TEL 072-362-3731(代表) 072-362-3732(入試課直通)

FAX 072-362-0598 / URL <http://www.tgu.ac.jp>

本学のニュースやイベントを掲載した学内報 Pillar of Wisdom を本学ホームページに掲載しております。
取材用資料としてぜひご利用ください。(http://www.tgu.ac.jp/schoolinfo/school-report.php)



太成学院大学 市民公開授業 堺学 講義内容（抜粋）

第1講	世界遺産をめざす百舌鳥・古市古墳群と大山古墳（仁徳陵）
第2講	泉北丘陵は古代のハイテク須恵器の一大生産地帯
第3講	河内鑄物師の活躍
第4講	律令国家体制（奈良時代）と堺出身の僧・行基
第5講	東南・東アジアの繁栄と堺商人の海外交易の実態
第6講	泉南仏国といわれた中世都市堺、 千利休の大成させた茶の湯文化とキリスト教宣教師が見た堺
第7講	大坂夏の陣後のみごとな復興計画商工都市
第8講	井原西鶴が紹介した江戸時代元禄期の堺、大坂と随分異なった気質は どうして生まれたか
第9講	鎖国と大和川の付け替えでも消滅しなかった町と 港湾・新地・新田開発
第10講	大阪府に併合された堺県の近代教育と産業振興
第11講	海浜リゾート都市だった近代の大浜・浜寺と与謝野晶子
第12講	臨海工業地帯の造成と泉北ニュータウン建設
第13講	周辺町村合併および政令指定都市と現在のまちづくりの課題
第14～15講	①堺市博物館と堺市役所 ②みはら歴史博物館と黒姫山古墳などの現地見学講義 (開講期間中の土または日曜日に実施予定 詳細については後日発表します)

※講義内容は変更する場合がございます。予めご了承くださいませ。